

年間指導計画例①（教科書の流れや記載内容をできるだけ活用した年間指導計画案）の指導計画案

- ・教科書の流れや記載内容をできるだけ活用した年間指導計画案です。「学習題材」には、教科書の章タイトルを配置しています。「学習内容」には、教科書の大項目（節）や教科書に掲載されているものを中心とした「実習」などを配置しています。
- ・「生活の課題と実践」は、一人ひとりにテーマを決めて取り組んでもらう計画としました。実践に時間のかかるものもあるので、3年生の始めのガイダンスでテーマを決め、計画的に実践し、学年の最後にまとめと発表会をするという案です。この発表を家庭分野の学習のまとめに位置づけ、学習内容の家庭生活での実践や、高校家庭科につなげようと考えました。
- ・感染症などで実習の実施が難しい場合は、指導の順序を変更したり、学校や学校以外の場において代替の活動をしたりすることが考えられます。

週（時）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
学習題材	A第1章 家族と家庭生活						A第2章 幼児の生活と家族						B第1章 健康と食生活					B第2章 献立作成と食品の選択																	
1年35時間 学習内容	1 家族のことを考えてみよう						1 幼児の心身の特徴						1 食生活を考えよう					1 1日分の献立作成																	
	2 家庭の生活を考えよう						2 幼児の生活の特徴						2 栄養素の種類とはたらし					2 食品の選択と購入																	
	3 家族のかかわり						3 幼児と遊び						3 食品に含まれる栄養素					3 鮮食品の購入																	
	4 家族のかかわりとコミュニケーション						4 幼児の発達と遊び						4 健康を守る住まい方の工夫					4 衣服のよごれを落とす																	
	5 家庭と地域のつながり						5 幼児の遊びを支える						5 教室の室内環境調べとその改善					5 衣服の保管・収納をする																	
	6 将来の自分の家族や家庭						6 幼児とのふれ合い準備						6 自立した衣生活のために					6 既製服の表示																	
	まとめ・発表						まとめ・発表						まとめ・発表					まとめ・発表																	
授業時数	8						11						7					8																	
学習指導要領	A(1)ア						A(2)ア、イ						B(1)ア、イ (2)ア					B(2)イ、ウ																	

週（時）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
学習題材	B第3章 日常食の調理と地域の食文化							C第1章 わたしたちの住生活							C第2章 わたしたちの衣生活																				
2年35時間 学習内容	1 調理の基礎							1 住まいの住まいの特徴調べ							1 自立した衣生活のために																				
	2 主食・主菜							2 地域の食材を見つめよう							2 安全な住まい方の工夫																				
	3 魚の調理							3 ままさまざまな暮らし方と住まい							3 健康を守る住まい方の工夫																				
	4 肉の調理							4 家族の生活と住まい							4 教室の室内環境調べとその改善																				
	5 野菜の調理							5 住まいの空間の使い方を考えよう							5 自立した衣生活のために																				
	6 副菜・汁物							6 地域の見つけ方							6 健康を守る住まい方の工夫																				
	7 衛生							7 調理の練習ほか							7 住まいの住まいの特徴調べ																				
	8 衛生							8 調理の練習ほか							8 住まいの住まいの特徴調べ																				
	9 衛生							9 調理の練習ほか							9 住まいの住まいの特徴調べ																				
	10 衛生							10 調理の練習ほか							10 住まいの住まいの特徴調べ																				
	11 衛生							11 調理の練習ほか							11 住まいの住まいの特徴調べ																				
	12 衛生							12 調理の練習ほか							12 住まいの住まいの特徴調べ																				
	13 衛生							13 調理の練習ほか							13 住まいの住まいの特徴調べ																				
	14 衛生							14 調理の練習ほか							14 住まいの住まいの特徴調べ																				
	15 衛生							15 調理の練習ほか							15 住まいの住まいの特徴調べ																				
	16 衛生							16 調理の練習ほか							16 住まいの住まいの特徴調べ																				
	17 衛生							17 調理の練習ほか							17 住まいの住まいの特徴調べ																				
	18 衛生							18 調理の練習ほか							18 住まいの住まいの特徴調べ																				
	19 衛生							19 調理の練習ほか							19 住まいの住まいの特徴調べ																				
	20 衛生							20 調理の練習ほか							20 住まいの住まいの特徴調べ																				
	21 衛生							21 調理の練習ほか							21 住まいの住まいの特徴調べ																				
	22 衛生							22 調理の練習ほか							22 住まいの住まいの特徴調べ																				
	23 衛生							23 調理の練習ほか							23 住まいの住まいの特徴調べ																				
	24 衛生							24 調理の練習ほか							24 住まいの住まいの特徴調べ																				
	25 衛生							25 調理の練習ほか							25 住まいの住まいの特徴調べ																				
	26 衛生							26 調理の練習ほか							26 住まいの住まいの特徴調べ																				
	27 衛生							27 調理の練習ほか							27 住まいの住まいの特徴調べ																				
	28 衛生							28 調理の練習ほか							28 住まいの住まいの特徴調べ																				
	29 衛生							29 調理の練習ほか							29 住まいの住まいの特徴調べ																				
	30 衛生							30 調理の練習ほか							30 住まいの住まいの特徴調べ																				
	31 衛生							31 調理の練習ほか							31 住まいの住まいの特徴調べ																				
	32 衛生							32 調理の練習ほか							32 住まいの住まいの特徴調べ																				
	33 衛生							33 調理の練習ほか							33 住まいの住まいの特徴調べ																				
	34 衛生							34 調理の練習ほか							34 住まいの住まいの特徴調べ																				
	35 衛生							35 調理の練習ほか							35 住まいの住まいの特徴調べ																				
授業時数	14							10							11																				
学習指導要領	B(3)ア、イ							C(3)ア、イ							C(1)ア、イ、ウ																				

週（時）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
学習題材	C第3章 生活を豊かにする工夫			D第1章 わたしたちの消費生活					家庭生活と環境		第3章 生活の課題と実践							
3年17.5時間 学習内容	1 製作の実習			1 わたしたちの消費生活					1 持続可能な社会をめざして		1 生活の課題と実践							
	2 つくってみよう			2 意思決定のプロセス					2 消費者生活と環境		2 生活の課題と実践							
	3 基礎			3 いろいろな買物方法					3 消費者生活と環境		3 生活の課題と実践							
	4 基礎			4 いろいろな買物方法					4 消費者生活と環境		4 生活の課題と実践							
	5 基礎			5 いろいろな買物方法					5 消費者生活と環境		5 生活の課題と実践							
	6 基礎			6 いろいろな買物方法					6 消費者生活と環境		6 生活の課題と実践							
	7 基礎			7 いろいろな買物方法					7 消費者生活と環境		7 生活の課題と実践							
	8 基礎			8 いろいろな買物方法					8 消費者生活と環境		8 生活の課題と実践							
	9 基礎			9 いろいろな買物方法					9 消費者生活と環境		9 生活の課題と実践							
	10 基礎			10 いろいろな買物方法					10 消費者生活と環境		10 生活の課題と実践							
	11 基礎			11 いろいろな買物方法					11 消費者生活と環境		11 生活の課題と実践							
	12 基礎			12 いろいろな買物方法					12 消費者生活と環境		12 生活の課題と実践							
	13 基礎			13 いろいろな買物方法					13 消費者生活と環境		13 生活の課題と実践							
	14 基礎			14 いろいろな買物方法					14 消費者生活と環境		14 生活の課題と実践							
	15 基礎			15 いろいろな買物方法					15 消費者生活と環境		15 生活の課題と実践							
	16 基礎			16 いろいろな買物方法					16 消費者生活と環境		16 生活の課題と実践							
	17 基礎			17 いろいろな買物方法					17 消費者生活と環境		17 生活の課題と実践							
	18 基礎			18 いろいろな買物方法					18 消費者生活と環境		18 生活の課題と実践							
授業時数	5			8					2		1.5							
学習指導要領	※1			C(3)ア					D(1)ア、イ		D(2)ア		※2					

指導時数	A	B	C	D	生活の課題と実践	計
	20	29	26	10	2.5	87.5

学習題材	学習内容	時間数	おもな学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動	おもな教材、教具、教科書の使用箇所
A 第1章 家族と家庭生活	家庭分野の学習を、始めよう! (家庭分野のガイダンス)	1	・教科書p.4~5、口絵3~7などを参考に、家庭生活や小学校家庭科の学習をふり返る。 ・p.6の自立度チェック、p.7のワークを行う。 ・教科書口絵1~2や、全体を見渡し、中学校家庭分野の学習はどんなことを行い、どんなふうに進めて行くのかを確認する。 ・これからの家庭分野の3年間の学習に見通しをもつ。 ・家族にはさまざまな形があることを確認する。		口絵3~7 口絵1~2 p.4~7
	1家族のことを考えてみよう	1	・核家族、拡大家族、三世代家族を知る。 ・教科書p.9の図1を見ながら、近年の家族の形の傾向を確認する。		p.8~9
	2家庭の生活を考えよう	2	・家族や家庭のはたらきについて、グループで話し合い、クラスの集計を行う。 ・家庭の仕事の種類や意味を確認する。 ・家族みんなで家事を協力することのメリットを考え、まとめる。 ・家庭生活を支える施設やサービスについてグループで調べる。 ・家族の一員として、家庭生活をよりよくするために、これから取り組んでいこうと思うことをまとめる。	・教科書p.10~15を読んで、家族や家庭のはたらきについてワークノートにまとめる。(0.5時間)	P.10~15
	3家族とのかかわり	2	・教科書p.16のQの図を見ながら、家族内にはいろいろな関係があることを考える。 ・グループごとにロールプレイングを行い、家族の立場や役割、よりよい家族関係について考え、まとめ、発表する。	・教科書p.16~19の家族の関係やロールプレイングなどの授業を踏まえて、ワークノートに感想をまとめる。(0.5時間)	P.16~19 「家族の授業サポートマガネット集」(教育図書)
	4家族のかかわりとコミュニケーション	1	・うまく家族と話ができないときに、自分の気持ちを伝えるにはどんな方法(コミュニケーション・ツール)があるのか、グループで意見を出し合い、発表する。 ・それぞれのコミュニケーション・ツールについて長所・短所を考える。 ・発表を聞いて気づいたことや感想などをまとめる。	・教科書p.18~19を読んで、自分の生活をふり返り、家族のかかわりとコミュニケーションの在り方についてワークノートにまとめる。(0.5時間)	P.18~21
	5家庭と地域のつながり	1	・家族と地域の人のつながりを図にする。 ・生活しやすい地域をつくるためにはどうしたらよいか、中学生にもできることを考え、グループで意見を出し合う。 ・家庭生活が地域の人々とのつながりの中で成り立っていることを理解する。 ・クラスで発表し合い、実践できそうなことの計画を立てる。	・教科書p.20~25を読んで、住んでいる地域の活動を調べて、自分にできることをワークノートにまとめる。(0.5時間)	p.20~25 地域の行事のポスター、ちらし、写真等 新聞記事など
	6将来の自分の家族や家庭	1	・いままでも家族について学習してきたことをふり返る。 ・教科書p.27の図9などを参考にしながら、3年後、5年後、10年後、20年後、30年後の自分と家族、地域の人々とのかかわりを具体的に書き出す。 ・将来の自分の家庭生活や家族とのかかわりについて、大切だと思うことをグループで話し合い、クラスで意見をまとめる。		P.26~27
A 第2章 幼児の生活と家族	1幼児の心身の発達	1	・教科書p.32のQをもとに、自分の幼児期をふり返る。 ・教科書p.30~31の手形と自分の手を比べる。 ・教科書p.33 図1をもとに、幼児のおもな整理的特徴について知る。 ・教科書p.34~35 図2をもとに、運動能力の発達、言葉の発達、こころの発達について知る。 ・発達の順序や個人差について知る。	・教科書p.32のQを読んで、家庭などから自分が小さかった頃のことを聞いて、ワークノートにまとめる。(0.5時間)	p.32~35 p.30~31 手形と足形 「新生児抱き人形あいちちゃん、ゆうくん」(教育図書)
	2幼児の生活の特徴	2	・中学生の生活や幼児の生活と、親の生活を比較し、気づいたことを発表する。幼児の生活を支える家族のあり方について考える。 ・幼児の生活に役立つものをつくる(計画、準備、実習、まとめ)。		P.36~39
	3幼児の生活習慣	1	・DVD教材から幼児の基本的な生活習慣について知る。 ・幼いころの家族や地域の人とのかかわりを思い出す。幼児と家族や地域の人々とのかかわりの大切さについて考える。 ・幼児の成長を支えるために、中学生としてできることを考える。		P.40~43 DVD「保育実習基礎の基礎 資料編」(教育図書)
	4幼児と遊び	1	・教科書p.36のQを見ながら、幼児にとって遊びは生活の中心を占める活動であることを確認する。 ・小さい頃にどんな遊びが好きだったかを考え、グループで意見交換をする。 ・遊びの役割についてまとめる。		p.36 p.44~45 幼児の写真 幼児のおもちゃ
	5幼児の発達と遊び	1	・1歳、3歳、5歳の子がよくする遊びの種類や遊び方、おとなや友達とのかかわり方などについて、それぞれグループでポスター状にまとめ、発表する。 ・各年齢の幼児の遊びについての発表を聞き、その違いについて考え、意見を出し合う。 ・幼児の遊びと心身の発達とのかかわりについてまとめる。		P.46~47
	6幼児の遊びを支える	2	・幼児の年齢や発達段階、安全性や耐久性などを考え、製作の計画を立てる。 ・おもちゃの製作を行う。④を選んだ場合は遊び方を用紙にまとめる。 ・できあがったおもちゃと工夫した点、遊び方などについて用紙にまとめ、グループごとに発表する。 ・安全な遊び道具と遊び環境について考え、社会の役割を知る。	・教科書p.48~49を読んで、幼児の遊び道具の選び方や遊びを支える環境について考え、(製作)遊ぶ計画を立てる。(0.5時間)	P.48~51 つま木、ペットボトル、新聞紙など
	7幼児とのふれ合い	3	(事前準備) ・幼児とふれ合うための事前準備と注意点、ふれ合うためのおもなコツを確認する。 ・ふれ合いにあたっての各自の課題を設定する。 ・名札の製作を行う。 (実習) ・幼児とどのようなふれ合いがもてたのか、各自まとめる。 ・まとめたことを発表し合い、友達がどんなかかわりをもてたのかを聞く。 ・これから地域の中でどのようなことができるかを考える。 【感染症などで実習ができない場合】 ・教科書p.54~57、幼児の様子わかる視聴覚教材やロールプレイングなどを活用し、幼児との関わり方について理解を深める。		P.52~57 DVD「保育実習基礎の基礎 準備編」(教育図書) 体操着(ジャージ) 手づくりおもちゃなど
		1	・食事の役割についてまとめる。 ・自分の食生活をふり返るために「おいしかった食事」についてまとめ、発表する。 ・おいしく食べるには、食べ物自体がおいしいというだけでなく、気分や、体調、気持ちのよい場所で食べるなどまわりの環境などが影響することを知る。		p.70~71 口絵3~7

B 第1章	1食生活を考えよう	1	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書p.73の実習に取り組む。 ・欠食、過食、偏食、早食い、不規則などのよくない食習慣について、その習慣を続けたときの体への影響と、改善方法をグループで考え、発表する。 ・発表をもとに自分のふだんの食生活をふり返り、よりよい食生活を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書p.72～73を読んで、自分の生活をふり返り、よりよい食習慣について、自分の考えをワークノートにまとめる。(0.5時間) 	p.72～73 ワーク
	2栄養素の種類とはたらき	2	<ul style="list-style-type: none"> ・五大栄養素の種類と、3つのはたらきとの関係を教科書p.75の図3で確認する。 ・五大栄養素、水、食物繊維のはたらきを図から調べ、発表する。 ・中学生の体の成長と栄養の特徴についてまとめる。 ・食事摂取基準について理解する。 		p.74～77
	3食品に含まれる栄養素	3	<ul style="list-style-type: none"> ・6つの基礎食品群と、食品群別摂取量のめやすについて知る。 ・食品カードを使い、身近な食品を食品群に分類する。 ・実際の食品の重さをはかることを通して、食品の概量を知る。 ・1日に必要な食品の概量を知る。 ・食品の皮をむいて重さをはかり、食品の廃棄率と可食部について知る。 ・食品成分表の読み方を知る。 ・おもな栄養素を多く含む食品を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書p.78～85を読んで、食品に含まれる栄養素についてワークノートにまとめる。(1時間) 	P.78～85 「Newフードマスター」 (教育図書) 実際の食品
B 第2章	1 1日分の献立作成	2	<ul style="list-style-type: none"> ・献立作成の基礎(主食、主菜、副菜、汁物を組み合わせていくことなど)を知る。 ・日本型食生活について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・献立作成の手順を確認し、中学生に必要な栄養を満たす1日分の献立を立てる。(1時間) 	P.86～90
		1	<ul style="list-style-type: none"> ・1日分の献立を作成する。 ・6つの食品群に分類して過不足の検討をする。 		P.90～93 料理の本など
	2食品の選択と購入	1	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書p.94のQに取り組み、さまざまな食品選択のメリット・デメリットを考える。 ・前時間に自分で立てた献立をもとに調理計画を立て、適切な食品の選択について考える。 		p.94 p.114～133
		1	<ul style="list-style-type: none"> ・生鮮食品の特徴、鮮度の見分け方などを知る。 ・旬について考える。 		p.96～97 食品カード 「Newフードマスター」 (教育図書)
		1	<ul style="list-style-type: none"> ・加工食品の特徴や種類を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書p.98を読んで、加工食品の特徴や種類についてワークノートにまとめる。(0.5時間) 	P.98
		1	<ul style="list-style-type: none"> ・持参した加工食品のパッケージの表示から、情報を読み取る。 ・食品添加物について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書p.99を読んで、加工食品の表示について調べたことをワークシートにまとめる。(0.5時間) 	加工食品のパッケージ p.99
		1	<ul style="list-style-type: none"> ・食品のパッケージについているマークについて知る。 ・遺伝子組換え食品、アレルギー物質を含む食品の表示について知る。 ・食品の安全を守る制度について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書p.100や口絵9～10を読んで、加工食品の表示について分かったことをワークノートにまとめる。(0.5時間) 	加工食品のパッケージ p.100、口絵9～10
1	<ul style="list-style-type: none"> ・食品の適切な保存方法について知る。 ・微生物の繁殖、腐敗、食中毒の予防について考える。 ・冷蔵庫での保存の注意点を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書p.101を読んで、食品の適切な保存方法について分かったことをワークノートにまとめる。(0.5時間) 	P.101		

(年間指導計画例① 第2学年)

学習題材	学習内容	時間数	おもな学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動	おもな教材、教具、教科書の使用箇所
	1調理の基礎	2	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書p.104のQに取り組み、衛生的な調理についておさえる。 ・食中毒についてのDVD教材を見て、内容をまとめる。 ・調理作業についてのDVD教材を見て、内容をまとめる。(包丁の扱い方、計量の仕方、加熱調理の基礎などを知る)。 ・可能ならば、計量・火加減の練習にホットケーキ(教科書p.109)、切り方の練習として生野菜サラダ(教科書p.127)やフルーツヨーグルト(教科書p.132)などの簡単な調理を行う。 ・授業をふり返り、安全で衛生的な調理の必要性についてまとめる。 <p>【感染症などで実習ができない場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書p.104～113などを参考に、家庭で実践して感想などをレポートにまとめる。(出来上がりを写真などで記録する。) 		P.104～113 DVD「今日から実践!食中毒予防」 DVD「調理実習基礎の基礎 準備編」(教育図書)など
B 第3章	つくってみよう 主食・主菜(魚)の調理	3	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の時の炊飯の復習を行う。 ・魚の調理上の特徴、魚の選び方などをおさえる。 ・主食(さつまいもご飯など)と、魚を使った主菜(いわしのかば焼き、煮魚、ムニエルなど)の調理計画、実習、まとめをする。 <p>【感染症などで実習ができない場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書p.116～121などを参考に、立てた調理計画を家庭で実践する。工夫したことや食べた感想などをレポートにまとめる。(出来上がりを写真などで記録する。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書p.110～111を読んで、魚の特徴や調理上の性質について分かったことをワークノートにまとめる。(0.5時間) ・調理実習で工夫したことや食べた感想などをレポートにまとめる。(0.5時間) 	P.116 p.95～96 p.110～111 p.120～121
	つくってみよう 主食・主菜(肉)の調理	3	<ul style="list-style-type: none"> ・肉の調理上の特徴、肉の選び方などをおさえる。 ・主食(おにぎり、ご飯など)と、肉を使った主菜(ハンバーグステーキ、ぶた肉のしょうが焼き、肉じゃがなど)の調理計画、実習、まとめをする。 <p>【感染症などで実習ができない場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書p.116～119、122～124などを参考に、立てた調理計画を家庭で実践する。工夫したことや食べた感想などをレポートにまとめる。(出来上がりを写真などで記録する。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書p.110～111を読んで、肉の特徴や調理上の性質について分かったことをワークノートにまとめる。(0.5時間) ・調理実習で工夫したことや食べた感想などをレポートにまとめる。(0.5時間) 	P.95～96 p.110～111 p.122～124
	つくってみよう 副菜・汁物(野菜)の調理	3	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜の調理上の特徴、野菜の選び方などをおさえる。 ・野菜をたっぷり使った副菜と汁物(ほうれんそうのごまあえ、けんちん汁など)の調理計画、実習、まとめをする。 <p>【感染症などで実習ができない場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書p.126～131などを参考に、立てた調理計画を家庭で実践する。工夫したことや食べた感想などをレポートにまとめる。(出来上がりを写真などで記録する。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書p.110～111を読んで、野菜の特徴や調理上の性質について分かったことをワークノートにまとめる。(0.5時間) ・調理実習で工夫したことや食べた感想などをレポートにまとめる。(0.5時間) 	P.110～111 p.95～97 p.126～131

C 第1章 わたしたちの 住生活	2地域の食材を見詰めよう	3	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人（ゲストティーチャー）から、地域の食材、食文化について話を聞く。 ・ゲストティーチャーと意見交換を行う。 ・地域の食材を使ったうどんづくりを行う。 <p>【感染症などで実習ができない場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書p.138～139などを参考に、家庭で実践する。工夫したことや食べた感想などをレポートにまとめる。（出来上がりを写真などで記録する。） 	<ul style="list-style-type: none"> ・調理実習で工夫したことや食べた感想などをレポートにまとめる。（0.5時間） 	p.134～141
	1住まいのはたらき	2	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書p.148にYES、NOで答え、クラスで集計して、結果について分析する。 ・住まいの基本的な3つのはたらきについておさえる。 ・グループで、住んでいる地域の伝統的な住まい、または日本各地の伝統的な住まい（教科書p.152など）について調べ、発表する。 ・住まいのはたらきや、伝統的な住まいの工夫についてまとめる。 		p.148～153 DVD「日本の住居」（教育図書）
	2家族の生活と住まい	1	<ul style="list-style-type: none"> ・住空間と生活行為とのかかりについて考える。 ・住宅広告から、間取り図、LDKについて知る。 ・「子ども部屋（中学生の部屋）にカギは必要か？」グループで意見を出し合う。 ・家族の住まい方は、年齢や人数、構成の変化にともない変化すること、気持ちよく暮らすための工夫などについて、教科書p.156を確認する。 		p.154～156 住宅広告
			<ul style="list-style-type: none"> ・教科書p.157の実習を行い、家族みんなが気持ちよく生活するためにはどうしたらよいかを考え、グループで意見交換を行い、発表する。 ・自分の家族との住まい方についてふり返り、家族の一員として自分にできることを考える。 		P.157
		1	<ul style="list-style-type: none"> ・コレクティブハウスでの暮らしについて知る。メリットやデメリットについて考え、発表する。 ・将来の理想の住まいについて、簡単な図に書く。工夫した点を言葉で書き出す。 ・家族の暮らし方はさまざまであることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書p.158～159を読んで、コレクティブハウス等について知ったうえで、家族が気持ちよく暮らす住まい方について、ワークノートに考えをまとめる。（0.5時間） 	P.158～159
	3安全な住まい方の工夫	1	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書p.162～163から、住まいの中で起きやすい事故について知る。 ・教科書p.161の図6から、住まいの中で死亡事故が多く起きていることを知る。 ・バリアフリー住宅、ユニバーサルデザインについて知る。 ・住まいの安全対策について調べ、まとめる。 		P.160～165
		2	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の危険だと思ふ場所について、グループで意見を出し合い、調べる。 ・自分たちにできることを提案するために、ポスターにまとめる。 ・グループごとに発表する。 ・調べ学習を通して、わかったことや考えたことをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書p.160～165を読んで、安全な住まい方の工夫についてワークノートに考えをまとめる。（0.5時間） 	
	4健康を守る住まい方の工夫	1	<ul style="list-style-type: none"> ・快適な室内環境についてのDVDを視聴する。 ・結露の仕組み、結露をおさえる工夫（換気、通風）を知る。 ・シックハウス症候群など、現代の住まいが抱える問題点を知る。 		P.166～171 DVD「家庭科ベストセレクション 健康・快適に住まう」（教育図書）
		1	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいの手入れを安全に行うために、洗剤の使用の注意点を知る。 ・家族が快適な生活を送るための工夫を考える。 ・家庭で実際にできることの計画を立てる。 		P.166～171
	C 第2章 わたしたちの 衣生活	1自立した衣生活のために	1	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書p.172の衣生活の自立度チェックを行い、クラスで集計して、結果について分析し、気付いたことなどをまとめる。 ・活用度が高い服はどのような服なのか、意見を出し合う。 ・活用していない服の活用の仕方について考える。 	
2衣服の着用		1	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服のはたらき（保健衛生上のはたらき、社会生活上のはたらき）を整理する。 ・衣服のT.P.O.について知り、適切な着用を考える。 		p.176～180
		1	<ul style="list-style-type: none"> ・各場面（T.P.O.）に応じた自分らしい服装を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書p.178～180を読んで、自分らしい服装をワークノートに考えをまとめる。（1時間） 	
		1	<ul style="list-style-type: none"> ・和服の基礎知識について知る。 ・ゆかたを実際に着たり、動いてみることにより、和服の理解を深める。 		p.181～183
3衣服の入手		2	<ul style="list-style-type: none"> ・学生服（制服のない学校は私服）や体操着などの表示調べをする。 ・組成表示、取扱表示、原産国表示、サイズ表示、デメリット表示などを知る。 ・DVD教材を見て、繊維の特徴を整理する。 ・平織、あや織、編物、不織布の違いを知る。 		p.184～187 p.190～191
4衣服の手入れ		2	<ul style="list-style-type: none"> ・ニンヒドリンで反応させた衣服を見ることから、衣服の着用後には洗濯が必要であることを気付く。 ・洗剤や洗濯方法を知る。 ・繊維の種類によって、使う洗剤の種類や洗濯の方法が違うことを知る。 ・繊維のフェルト化実験をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書p.188～189、192～193を読んで、洗濯についてワークノートにまとめる。（1時間） 	P.188～189 p.192～193
	<ul style="list-style-type: none"> ・制服などで、補修が必要になりやすい部分を確認する。 ・補修の3つのポイントをノートやプリントにまとめる。 ・小学校のときの復習として以下の作業をする。となりの人が確認をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・糸通し、玉結び、なみ縫い、玉止め。 ・DVD教材でスナップつけ、まつり縫いの方法を確認する。 ・スナップつけをする。まつり縫いをする。 			P.194～195 縫製用具 DVD「衣服実習基礎の基礎 手縫い編」（教育図書）	
	1	<ul style="list-style-type: none"> ・すぐに洗濯をしない日常着の手入れについて知る。 ・ドライクリーニングの特徴と、利用のときの注意点についてまとめる。 ・ワイシャツやブラウスにアイロンをかける実習を行うことにより、アイロンの安全な使い方を理解する。 		p.196～197 アイロン、アイロン台 ワイシャツ、ブラウス	
5衣服の処分	1	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の3Rについて知り、「捨てる」以外の処分の方法を考える。 ・衣服の手入れや環境に配慮した衣生活の工夫などについてのDVD教材を見る。 ・衣生活の学習をふり返り、自分なりの課題を見つけ、まとめる。 		p.198～199 DVD「新家庭科ベストセレクション 衣服と装いの科学」（教育図書）	

(年間指導計画例① 第3学年)

学習 題材	学習内容	時間数	おもな学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教 材・学習活動	おもな教材、教具、教科 書の使用箇所
選択・生活の課題と実践		1	<ul style="list-style-type: none"> 生活を見つめ、課題を見つける。 課題解決のための計画を立てる。 		p.62～67 p.144～147 p.224～227
C 原 3 章 生 活 を 豊 か に す る 工 夫	1 製作実習の基礎 つくってみよう	5	<ul style="list-style-type: none"> 教科書p.200～201を参考に、身の回りにある布でできたものを考え、発表する。 教科書p.202～203などを参考に、平面的な布がさまざまな立体に変化して、わたしたちの生活を豊かにしていることに気付く。 		p.200～203
			<ul style="list-style-type: none"> 裁縫用具やミシンの使い方、被服室のルールなどを確認する。 きんちゃく袋、エプロンなどの計画を立て、行程表をつくる。 製作を行う。 ポケットの形やつけ方、丈の長さや大きさなど、自分なりの工夫を盛り込む。 時間があれば、作品の発表会を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書p.204～209を読んで、製作の基礎を確認しながら、教科書p.210～221を参考にして製作の計画を立てる。(0.5時間) 	p.204～221 DVD「新衣服実習 基礎の基礎シリ ーズ」(教育図書)
D 第 1 章 わ た し た ち の 消 費 生 活	1 わたしたちの消費生活	1	<ul style="list-style-type: none"> 広告が買い物にどのような影響を与えているか、話し合い、発表する。 最近の自分の買い物を振り返る。 わたしたちは社会の中で消費者であり、物資・サービスを購入し消費する主体であることを確認する。 		p.228～231
		1	<ul style="list-style-type: none"> 商品購入の意思決定のプロセスについて知る。 ニーズとウォンツについて理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書p.232～233を読んで、商品購入の意思決定のプロセスについて分かったことをワークノートにまとめる。 教科書p.233「考えよう」を読んで、自分の欲しいものを①～③に沿ってニーズとウォンツで 	p.232～233
	2 いろいろな買い物方法	1	<ul style="list-style-type: none"> 店舗販売と無店舗販売の長所・短所を記述し、発表する。 支払い方法には、前払い、即時払い、後払いの3種類があることを知る。 		p.234～239
	3 買い物の法的な意味	1	<ul style="list-style-type: none"> 教科書p.240のQを考え、日常の買い物は法的に見ると契約という約束であることを知る。 契約により権利と義務が発生することを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書p.240のQについて考えて、レポートにまとめる。(0.5時間) 	p.240～241
	4 ねらわれている消費者	1	<ul style="list-style-type: none"> 消費者は事業者にとって利益を得るためのターゲットにもなっていることを知る。 悪質商法の問題点について話し合い発表する。 悪質商法のDVDを視聴し若者の被害が多い悪質商法の事例を知る。 		p.242～245 DVD「消費生活 とトラブル防止」 「アクティブに学ぼう vol.2暮らしと消費」 「笑費者になろう！」 (教育図書)
	5 消費者トラブルの解決	1	<ul style="list-style-type: none"> 消費者と事業者の力の差が大きいため、さまざまな消費者トラブルが発生することを理解する。 消費者トラブルを救済する法律があることを知る。 クーリング・オフの条件と方法の概要を知る。 消費者トラブルの相談先を知り、消費者トラブルの解決や予防方法を考える。 		p.246～249
	6 買い物の社会的な意味	1	<ul style="list-style-type: none"> お金を払って商品を買うことは、それを生産する事業者を応援する(お金の投票を事業者にする)意味があることを理解する。 フェアトレードのしくみとフェアトレードのマークのついた商品があることを知る。 自分の毎日の買い物には、社会的な意味があり、どんな社会が望ましいか考えながら買う必要性があることを確認する。 グリーンコンシューマー、消費者市民社会について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書p.250～253を読んで、買物の社会的な意味についてまとめる。(0.5時間) 	p.250～253
7 消費者市民社会を目指して	1	<ul style="list-style-type: none"> 消費者には、8つの権利、5つの役割(責任)があることを知る。 消費者の選択が社会を変える大きな力を持っていることを自覚する。 消費者市民社会の実現のためにできることを考える。 よりよい社会に変えるために、消費者としてどんな役割を果たしていけばよいか考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書p.254～255を読んで、消費者の権利と役割について分かったことをワークノートにまとめる。(0.5時間) 	p.254～257	
D 第 2 章 家 庭 生 活 と 環 境	1 消費生活と環境のつながり	1	<ul style="list-style-type: none"> 生活と環境問題が繋がっていることを確認し、持続可能な社会に向けて生活を変えて行く必要があることを知る。 教科書p.260のQを参考にして、グループで消費行動を1つ決め、その行動に関わる環境への影響を図にまとめる。 完成した図を、他のグループと互いに説明し合い、消費生活と環境とのつながりについて理解を深める。 		p.258～263
	2 いま、わたしたちにできること	1	<ul style="list-style-type: none"> 「循環型社会」、「低炭素な社会」、「3R」、「もったいない」などのキーワードを確認し、持続可能な社会について理解する。 持続可能な社会をめざすために、自分たちの日常生活において実践できる。 環境に配慮した行動について、ダイヤモンドランキングで考える。 環境に配慮した行動の実践を意識する。 		p.264～271 p.253
選択・生活の課題と実践		1.5	<p>(各自、家庭や地域などで、休日などを使って課題の実践をする。)</p> <ul style="list-style-type: none"> レポートを作成し、実践を振り返る。 考察、まとめをする。 グループやクラスで発表する。または、教室や廊下、文化祭などで掲示し、発表の機会を設けるなど。 3年間の学習を振り返り、家庭や社会での実践につながるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画を立てた後、家庭で実践する。実践したことをレポートなどにまとめる。(0.5時間) 	p.62～67 p.144～147 p.224～227